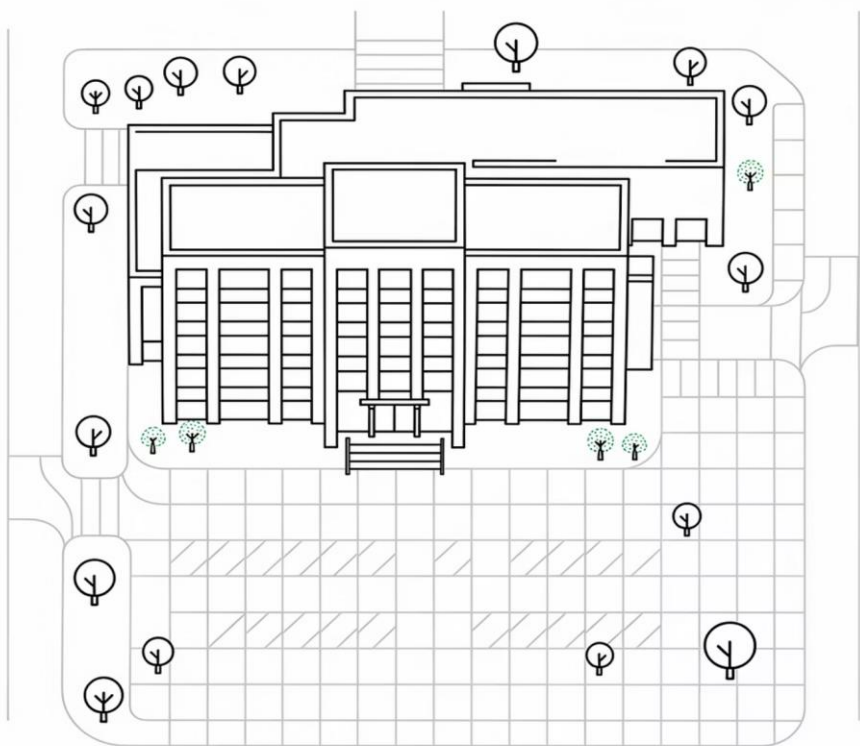




AX戦略課の設立について

— AIを前提とした行政運営へ —

なぜ今、AXなのか

- ・労働人口減少による職員不足
- ・多様化する住民ニーズ



行政サービスを維持できる唯一の手段

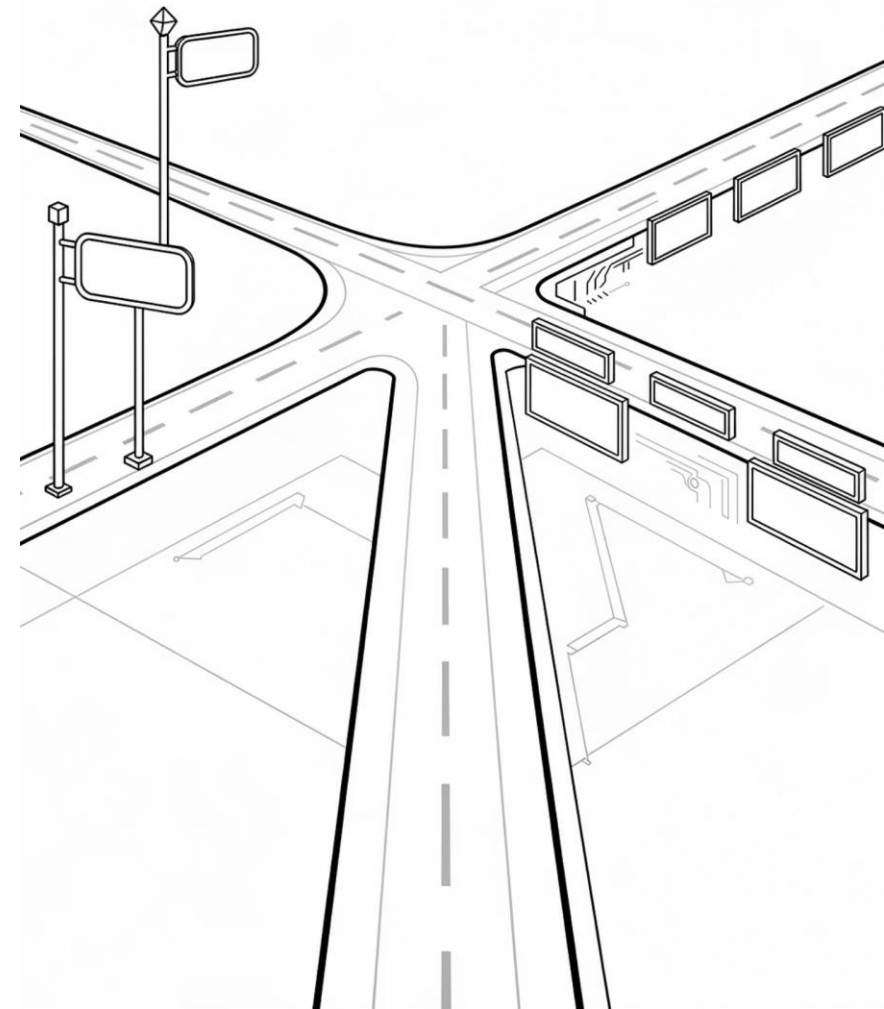
DX（これまで）

「デジタル化」による効率化が中心でした。紙をデータに変え、プロセスをオンライン化するつまり、やり方を変える段階です。

AX（これから）

AIを前提に業務そのものを再設計する段階へ。単に効率化するのではなく、判断・設計・サービスの構造を根本から見直します。

💡「やり方を変えるだけでなく、"考え方"を変える段階」に私たちは今、立っています。



AXとは何か

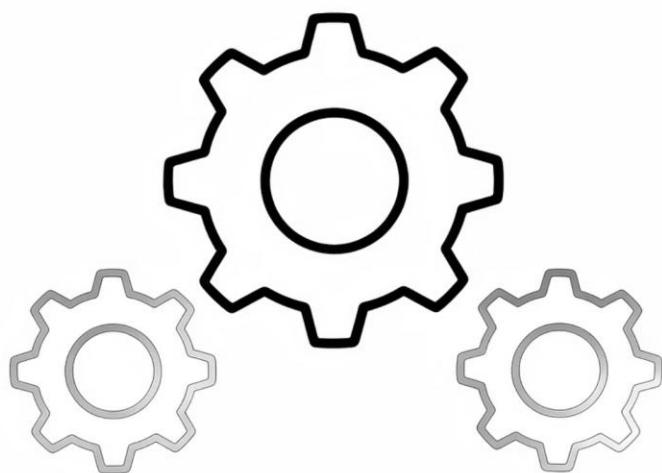
AX（AI Transformation）とは、**AI**を前提として、業務・意思決定・行政サービスを根本から再設計することです。
単なるツール導入とは異なります。

✕ よくある誤解

AIツールを導入する＝**AX**既存業務に**AI**を貼り付けるだけでは、真の変革には至りません。

○ AXの本質

業務のやり方・流れ・判断プロセス自体を変える＝**AX**・**AI**があることを前提に、業務を最初から設計し直します。



AX戦略課の3つの役割

1

業務の見直し

AIを前提に業務フローを再設計します。現場の課題を丁寧にヒアリングし、どこにAIが活きるかを見極めます。

2

小さな実証

まず1部署・1業務から試します。大きく動かす前に効果と課題を確認し、現場の不安を取り除きます。

3

全庁への展開

成果が出た取り組みを横展開します。成功体験を共有し、庁内全体の変革を後押しします。

- ❖ AX戦略課は「全部やる部署」ではありません。変わるきっかけを作る部署です。

何が変わるのか（現場目線）

AIの導入によって、現場の仕事はどのように変わるのでしょうか。具体的な**Before / After**で確認しましょう。

業務項目	これまで	これから
文書・議事録作成	手作業中心、時間がかかる	AI補助で草案を自動生成、確認・修正に集中
問い合わせ対応	担当者が個別に対応	AIが分類・一次回答、人は判断・対応に集中
データ分析・報告	経験や勘に頼りがち	データ+AIで根拠ある判断が可能に

📌 🌀 AIは仕事を奪うのではなく、「**楽にして、精度を上げる**」ためのパートナーです。

進め方（令和8年5月から）

いきなり全部を変えるものではありません。現場の負担を最小限にしながら、確実に成果を積み上げていきます。

1

① 小さく試す

1部署・1業務から開始。リスクを最小化しながら実証します。

2

② 成果を確認

効果・課題・現場の声を丁寧に検証。改善しながら前進します。

3

③ 横展開

うまくいった取り組みを他部署へ。成功体験が次の一步を生みます。

📌 急がず、でも確実に。現場が安心して取り組める進め方を大切にします。

具体的にやること（イメージ）

「AIって難しそう」と感じる方も多いと思います。でも、最初に取り組むのはこんな、身近で実感しやすい業務です。



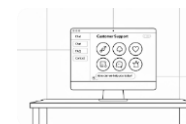
議事録の自動作成

会議の音声をAIが自動で文字起こし・要約。担当者の作業時間を大幅に削減します。



書類作成支援

申請書・報告書の草案をAIが生成。職員はチェック・修正に集中でき、質も速度も上がります。



説明会でのスライド作成

説明会の趣旨を入力するだけで、導入から結論まで、直感的に伝わる図解やイラストのスライド構成を提案します。事前にFAQも作成します。

各部署へのお願い

AX戦略課から、各部署のみなさまへ一つお願いがあります。完璧な提案は必要ありません。



「困っていること」を教えてください

「この業務、いつも時間がかかって...」 「ここが属人化していて...」
そんな声が、AXの出発点になります。



一緒に作るプロジェクトです

AX戦略課が解決策を押し付けるのではなく、現場と一緒に考え、試し、改善していきます。



不安への回答（先回りQ&A）

新しい取り組みに不安を感じるのは自然なことです。よくある懸念に、あらかじめお答えします。

AIって難しそう...

→ 簡単なところから始めます。
最初のステップは、誰でも使えるシンプルなツールから。操作研修もサポートします。

仕事が減ってしまう？

→ 負担を減らすためのAIです。
単純作業・繰り返し作業をAIに任せ、職員がより価値ある業務に集中できる環境を目指します。

AIのミスが怖い...

→ 最終確認は必ず人が行います。
AIはあくまで補助ツール。判断・承認のプロセスは従来通り、人が担います。



AX戦略課のスタンス

AX戦略課は、技術を押し付ける部署ではありません。現場の声を起点に、信頼を積み上げながら変革を進めるチームです。



現場を否定しない

今の業務や取り組みを否定するのではなく、これまでの努力を尊重しながら、より良い形を一緒に探します。



一緒に改善する

上から指示するのではなく、現場と並走します。課題を共有し、小さな成功体験を積み重ねます。



押し付けない

導入を強制することはありません。各部署のペースと準備状況に合わせた、無理のない進め方を大切にします。



最後のメッセージ

AXはまだ正解がない取り組みです。だからこそ、この町のやり方が"前例"になります。まずは小さな一歩から、一緒に進めていきたいと考えています。

 現場と共に

一つひとつの声を
大切に

 小さく、確実に

焦らず、
でも止まらず

 この町が前例
に

全国のモデルケース
へ

ご清聴ありがとうございました。ご質問・ご意見はいつでもAX戦略課までお寄せください。